

群馬ものづくり改善インストラクタースクール

平成29年度 受講生募集案内

12期
太田校

- 募集期間 平成29年 4月10日(月) ～ 平成29年 4月28日(金)
- 開講期間 平成29年 6月 1日(木) ～ 平成29年 8月 4日(金)

13期
前橋校

- 募集期間 平成29年 9月 1日(金) ～ 平成29年 9月22日(金)
- 開講期間 平成29年 10月19日(木) ～ 平成29年 12月22日(金)

「群馬ものづくり改善インストラクタースクール」 設立の背景

経済のグローバル化がますます進み、激しい国際競争に直面する日本のものづくり産業。多くの生産拠点が海外へ移転した結果、国内ものづくり中小企業の現場では「多品種少量」「短納期」の生産が主力へと変化しつつあります。

小品種大量生産に比べ、緻密な工程管理やコスト管理のための複雑な仕組みが要求される多品種少量生産。企業固有の技術＝「わざ」だけでなく、効率的に生産を行うための管理技術＝「しくみ」についても精度の高さが厳しく問われる中で表面化したのが、「**管理技術を持った人材の不足**」という新たな課題です。

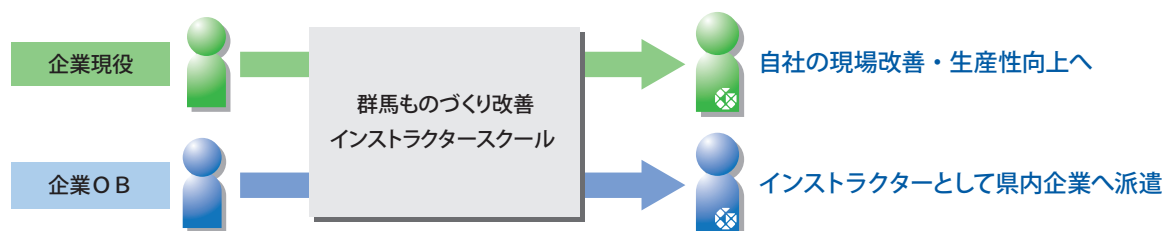
この課題に早くから着目した群馬県では、平成22年度に「**群馬ものづくり改善インストラクタースクール**」を開校。ベテラン人材の中に「暗黙知」として蓄積されてきた管理技術を、あらゆる産業に共通する「形式知」に変換して次世代人材へ伝承を図り、効率的でムダの無い「良い流れ」をつくる管理技術を身に着けた多くの人材を輩出してまいりました。

「群馬ものづくり改善インストラクタースクール」が 目指すもの

「群馬ものづくり改善インストラクタースクール」では、県内ものづくり中小企業で活躍する現役人材を、自社の改善活動の中核を担う人材へと育成し、「自ら進化する現場」を創出することを目指します。

また県内には大手製造業OBをはじめ、豊富な知識と経験を持ちながら活躍の場を探している多くの人材が存在しています。インストラクタースクールではこうした人材に、中小企業の現場改善に必要な知識を習得していただき、中小企業のためのものづくり改善インストラクターとして養成しています。

OB人材はスクールを修了後、要請のあった県内ものづくり中小企業へ派遣され、平成28年度までに100社を超える企業の現場改善支援にあたりました。



スクールの特徴

東京大学ものづくり経営研究センターと共同開発した中小企業現場のためのカリキュラム

「群馬ものづくり改善インストラクタースクール」のカリキュラムは、部分的な改善指導ではなく、設計から製造、物流まで、ものづくりの流れ全体をみることが出来るインストラクターを育成するために、「東京大学ものづくり経営研究センター」（藤本隆宏センター長）との共同開発によって誕生しました。

豊富な演習に加え、実際に中小製造業の現場で改善活動を行う現場実習など、「座学」「演習」「実習」をバランスよく組み合わせた現場密着・実践型プログラムで、中小企業の現場で今、本当に必要とされる知識を体系的に身につけることができます。

東京大学ものづくり経営研究センターの協力による経験豊富な講師陣

大手製造業出身者である東京大学ものづくりインストラクターをはじめ、現場指導経験豊富なインストラクターが主な講義を担当します。

また教材には、「東京大学ものづくりインストラクター養成スクール」のテキストをベースとする群馬オリジナルテキストを使用します。

継続的なフォローアップ体制

スクール修了生向けに「群馬ものづくり改善インストラクター会議」を定期的開催、工場見学会やセミナーを通して、修了後も継続的なレベルアップを図ります。

広域ネットワークの形成

開校から8年目を迎えた「群馬ものづくり改善インストラクタースクール」は、現役人材とOB人材の学びの場としてだけでなく、講師も含め多彩な経歴を持った人材が親密に交流できる場として、業種を超えて県内外に広がるネットワークを形成しています。こうしたネットワークを通じて知識・ノウハウが共有できることも当スクールならではの強みです。

東京大学ものづくり インストラクター養成スクール

- 製造現場のベテラン人材を、社内や地域で改善指導の師範として活躍できる人材に養成する「ものづくりインストラクターの師範学校」として、平成17年に開校。
- 「ものづくりシステム」の国際的研究拠点である「東京大学ものづくり経営研究センター」(MMRC)による運営。

群馬ものづくり改善 インストラクタースクール

- MMRCの全面的なバックアップの下、地域の人材を地域で育て、地域で活かしていく「地域に合った師範学校」として、平成22年に全国で初めて開校。
- 平成28年度までに127名(OB:36名、現役:91名)が修了。全国で地域スクール開校が相次ぐ現在も「群馬モデル」として注目を集める。

カリキュラム体系 (日程順とは異なります)

概 論	1	ものづくりの基礎概念	ものづくりインストラクターとしての基本姿勢とものづくりの基礎概念とは何かを理解します。
	2	競争力と企業パフォーマンス	現場でのものづくり組織能力の大切さと収益力、インストラクターの仕事領域、パフォーマンスの計り方を理解します。
	3	品質管理	「ものづくり」で取り上げる品質の範囲と定義、品質管理のアプローチ、現場での兆候の発見方法などを理解します。
	4	フレキシビリティ	企業のフレキシビリティとはなにか、その必要性、要素を理解します。
	5	コストと生産性	原価企画と原価管理の仕組み、生産性とIE・標準作業との関連、ムダと生産性向上の概念、コスト低減策を理解します。
	6	納期・工程・在庫管理	納期 (D) と背後にある生産数量・生産期間 (T)、それらの管理について基礎的な概念を理解します。
	7	設備管理	設備投資の評価・決定、自動化の程度の選択、設備の保全の方法を理解します。
手 法 (理論・演習)	8	IE	現場の作業改善の基本であるIE (狭義のIE) を、実習を通じて理解します。
	9	標準作業と標準時間の設定	工場管理の基礎である標準作業と標準時間について、その設定方法を理解します。
	10	原価低減 (作業改善)	現場で利益向上・納期短縮に直接結びつく改善の方法を理解します。
	11	QC 7つ道具 新QC 7つ道具	起きている現象を定量化する基本ツールである7つ道具とKJ法、系統図法を理解します。
	12	不良削減及びポカヨケ	不良削減の価値を知り、問題を正しく捉えて対策を行うことで、後戻りしない策を理解します。
	13	原価低減 (VA/VE)	現場で図面や現物をベースにコストを改善する手法について理解します。

カリキュラム体系 (日程順とは異なります)

手 法 (理論・演習)	14	5S	改善の基礎的取り組みであり、企業体質の向上に有効である5Sについて、その意義、活動の進め方の理解を深めます。
	15	目で見える管理	誰もが異常値を発見できる状況をつくり、管理を効率化する“目で見える管理”の理解を深めます。
	16	現場の見方	現場を科学的に見る視点を整理し理解します。
	17	からくり講座 (特別講座)	作業や設備に物を供給・回収する「からくり改善」の事例を通して、定義や基本機構を理解します。
	18	問題解決・リーダーシップとマネジメント	問題解決手法とその手順を、講座と演習によって理解するとともに、リーダーシップとマネジメントの違いを理解します。
	19	インストラクティングの基本	コミュニケーション力を高め、経営者や従業員と協力しながら効果を上げる活動の進め方を理解します。
	20	多品種少量生産の生産計画・統制	多品種少量生産にこそ必要な工程管理について、生産計画策定の基本と統制の手法を理解します。
	21	現場改善の進め方 ・モノと情報の流れ図	ものづくり現場に立ったときの基本パターン（兆候から改善への展開）を理解します。
現 場 改 善 (実 践)	22	現場改善実習	4人1組のチームに分かれ、企業の現場における改善策を検討する実習を行います。
	23	チームディスカッション	現場分析と改善案を再確認し、チームによるディスカッションを行って更なる改善策の検討を行います。
	24	改善案まとめ	現場実習先企業に対して、最終的にどのような提案ができるのかについて、まとめを行います。
成 果 発 表	25	改善策提案(現場発表)	チームごとに現場実習先に対して、改善策の提案を行います。
	26	定石発表	受講生が、現場実習先の課題に対する定石的改善策を発表します。

第12期 太田校の募集について

- 【受講期間】** 平成29年6月1日(木)～平成29年8月4日(金)の木曜・金曜(一部土曜、計20日間)
- 【会場】** テクノプラザおおた(太田市本町29-1)ほか
- 【募集定員】** 12名
- 【講座日程】** 下表のとおり
- 【募集対象】** 次の(1)または(2)を満たし、生産管理・品質管理・生産技術などの経験があり、I E・ものづくりに関する予備知識を有する方

- (1) **企業OB** ・県内在住の大手、中堅製造業で工場などの現場経験豊富なOB
例：工場長、生産管理部門、生産革新部門責任者等(年齢不問)
- ・**スクール修了後、インストラクターとして県内企業への派遣支援活動が可能であること。**
- (2) **企業現役** ・県内に事業所を有する中小製造業者の現場リーダーまたは幹部候補者

	実施日	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
1	6月1日	木	開講式	ものづくりの基礎概念		競争力と企業パフォーマンス		品質管理			
2	6月2日	金	コストと生産性		納期・工程・在庫管理		設備管理				
3	6月8日	木	I E								
4	6月9日	金	I E		標準作業と標準時間設定						
5	6月15日	木	VA/VE	からくり講座		原価低減(作業改善)			5S		
6	6月16日	金	QC 7つ道具・新QC 7つ道具							不良削減及びボカヨケ	
7	6月23日	金	問題解決・リーダーシップとマネジメント								
8	6月24日	土	インストラクティングの基本								
9	6月29日	木	多品種少量生産の生産計画・統制				目で見える管理	フレキシビリティ			
10	6月30日	金	現場の見方	まとめ	定石の作り方	現場実習事の進め方		現場実習事前打ち合わせ			
11	7月6日	木	現場改善の進め方・モノと情報の流れ図								
12	7月7日	金	実習現場調査				チームディスカッション				
13	7月13日	木	現場改善指導実習(1)								
14	7月14日	金	チームディスカッション								
15	7月20日	木	現場改善指導実習(2)								
16	7月21日	金	チームディスカッション								
17	7月27日	木	現場改善指導実習(3)								
18	7月28日	金	発表資料作成								
19	8月3日	木	改善提案報告会(Aチーム)			改善提案報告会(Bチーム)			改善提案報告会(Cチーム)		
20	8月4日	金	成果発表会(チーム)				成果発表会(個人)			修了式	

※講座順序・日程は変更になることがあります。

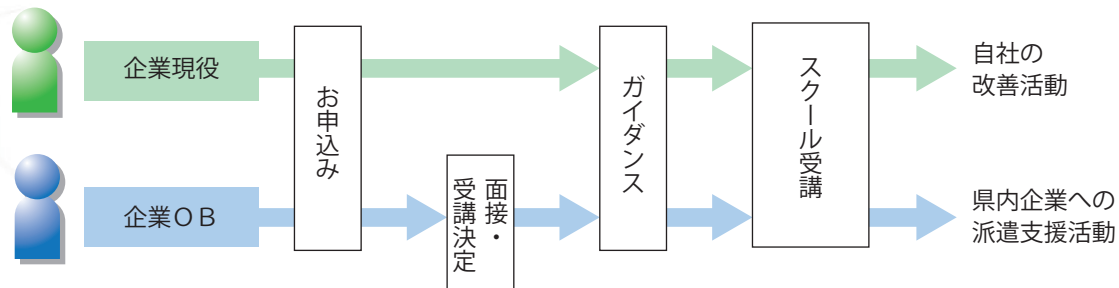
第13期 前橋校の募集について

- 【受講期間】 平成29年10月19日(木)～平成29年12月22日(金)の木曜・金曜(一部水曜、計20日間)
- 【会場】 群馬県公社総合ビル(前橋市大渡町1-10-7)ほか
- 【募集定員】 12名
- 【講座日程】 下表のとおり
- 【募集対象】 12期に同じ

	実施日	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	
1	10月19日	木	開講式	ものづくりの基礎概念		競争力と企業パフォーマンス		品質管理				
2	10月20日	金	コストと生産性		納期・工程・在庫管理		設備管理					
3	10月26日	木	I E									
4	10月27日	金	I E		標準作業と標準時間設定							
5	11月1日	水	VA/VE	からくり講座		原価低減(作業改善)		5S				
6	11月2日	木	インストラクティングの基本									
7	11月9日	木	QC 7つ道具・新QC 7つ道具							不良削減及びポカヨケ		
8	11月10日	金	問題解決・リーダーシップとマネジメント									
9	11月16日	木	多品種少量生産の生産計画・統制				目で見える管理		フレキシビリティ			
10	11月17日	金	現場の見方	まとめ	定石の作り方	現場実習事の進め方		現場実習事前打ち合わせ				
11	11月22日	水	現場改善の進め方・モノと情報の流れ図									
12	11月24日	金	実習現場調査				チームディスカッション					
13	11月30日	木	現場改善指導実習(1)									
14	12月1日	金	チームディスカッション									
15	12月7日	木	現場改善指導実習(2)									
16	12月8日	金	チームディスカッション									
17	12月14日	木	現場改善指導実習(3)									
18	12月15日	金	発表資料作成									
19	12月21日	木	改善提案報告会(Aチーム)		改善提案報告会(Bチーム)		改善提案報告会(Cチーム)					
20	12月22日	金	成果発表会(チーム)				成果発表会(個人)		修了式			

※講座順序・日程は変更になることがあります。

お申し込み・受講の流れ



1.お申込み

必要書類を各期の締め切りまでに、(公財)群馬県産業支援機構 工業支援課あてにご提出ください。
 必用書類については、p.8をご覧ください。

2.面接

書類選考の上、OBの方のみ面接を実施します(面接の結果は、面接後速やかに申込者あてに通知します。)

3.ガイダンス

受講者決定後、ガイダンスを実施します。

ガイダンスでは、藤本隆宏教授の著書「生産マネジメント入門 I・II」(日本経済新聞社)を教材として支給しますので、開講までの間、事前学習をお願いします。

4.修了後の活動及びフォローアップ

「群馬ものづくり改善インストラクター会議」を定期的開催して修了生の交流を図り、工場見学会などを通じて情報の共有や指導活動のレベルアップを支援します。

また企業OB生は、修了後、インストラクター派遣事業「ぐんま改善チャレンジ」において、要請のあった県内中小企業への派遣活動に参加できることが必要です。派遣に際しては、規定の報酬をお支払いします。

日程

平成29年度は、太田校・前橋校の2期開講を予定しています。開講日程は次の通りです。

	募集締切	ガイダンス	開講期間
12期(太田校)	4月28日(金)	5月17日(水)	6月1日(木)～8月4日(金)
13期(前橋校)	9月22日(金)	10月4日(水)	10月19日(木)～12月22日(金)

受講料

ガイダンスから開講までの間に納入していただきます。

企業OB 10万円（消費税込）

企業現役 25万円（ 〃 ）

- ・ガイダンス時に請求書をお渡しいたします。
- ・開講後の受講料返還には応じられません。

募集期間

12期 太田校 平成29年 4月10日(月) ～ 4月28日(金)

13期 前橋校 平成29年 9月 1日(金) ～ 9月22日(金) いずれも必着

- ・申込が定員に達した場合、期間内でも募集を締め切ることがあります。

修了要件

出席率が全体の概ね8割に満たない場合、修了の認定を行わないことがあります。(但し、現場実習※には9割以上の出席が必要です。) ※…12期：7月7日以降、13期：11月24日以降

その他

- ・受講者には、各自デシマルストップウォッチのご用意をお願いしております。(詳細はガイダンスによる)
- ・現場実習時に、各自安全靴や作業着上下、帽子等のご用意が必要になる場合がございます。

お申込み方法

必要書類 ・申込書

・職務経歴書

・会社案内(パンフレット等。現役受講生のみ)

- ・所定の申込書に必要な事項をご記入の上、職務経歴書および企業現役の方は会社案内を添えて、(公財)群馬県産業支援機構 工業支援課宛て持参または郵送でご提出ください。(FAX不可)
- ・職務経歴書には市販の用紙などを使用し、受講生ご本人の職務のご経歴をご記入ください。
- ・申込書は(公財)群馬県産業支援機構で配布しているほか、機構のwebサイトからもダウンロードできます。



お申込み・お問合せ先

公益財団法人群馬県産業支援機構 工業支援課 (担当: 横尾)

TEL: 027 - 265 - 5015

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町884-1 群馬産業技術センター内

<http://www.g-inf.or.jp>



平成29年3月27日より事務所が上記住所に移転いたしました。移転に伴い電話番号も変更になりましたのでご注意ください。